

神奈川県立保土ヶ谷養護学校学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和4年度 第4回 ほどう協議会		
開催日時	令和5年2月 27日(月)		
開催場所	保土ヶ谷養護学校 共同学習室		
出席者	令和4年度保土ヶ谷養護学校 学校運営協議会委員 9名(本校校長を含む) 令和4年度保土ヶ谷養護学校 学校運営協議会事務局教職員 10名		
次回開催予定日	今年度は終了しました		
問合せ先	神奈川県立保土ヶ谷養護学校 副校長 川島 結子 電話 045-714-0126 Fax 045-742-9716		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過			
<p>1. 会長挨拶</p> <p>*委員の皆様、事務局の皆様よろしく申し上げます。</p> <p>2. 学校長挨拶</p> <p>*早いもので2月もう終わる。本日はお忙しい中出席いただきありがとうございます。コロナも収まりつつあるか。安全安心に留意しつつ、学校の教育活動も少しずつ進めていきたい。</p> <p>*本日は年度末評価・報告を中心に進めてまいりたい。質疑の中で不十分な点を補いつつ、来年度の目標等考えていく参考にしていきたい。</p> <p>3. 出席者および会成立の確認</p> <p>副校長)本日は、I委員が欠席だが、9名出席されているので会は成立した。</p> <p>4. 資料確認・本日の流れ説明</p> <p>副校長)本日の流れは資料のとおり、追加資料やパワーポイント資料も用意した。それらをご覧いただきながら説明をお聞きいただきたい。この後は会長に進行をお任せする。</p> <p>5. 議題「年度末評価・報告」</p> <p>会長)早速だが、資料に沿って説明をお願いしたい。説明にあたり、どの資料かも示していただきたい。</p> <p>① 学部、グループ</p> <p>【小学部】 資料3-1</p> <p>*「生徒指導・支援」では、地域の学校とのつながりや学校間交流を目標立てした。今年度は直接交流が実施できた。3年ぶりの対面交流となったが、事前に教員間でコロナ対策を話し合っ実施した。ゲーム等を一緒に行うのは難しかったが、歌やダンスを披露しあった。お互いを知</p>			

ることや他者へ演技を披露するよい機会となった。

*課題・改善方策としては、今後も感染状況をにらみながら、回数を増やしたり一段内容を濃くしたりと検討していきたい。

*「地域等との協働」では、農園での遊び場づくりに取り組んだ。そり遊びのための段ボールをつなげた遊び場を設置した。5年生を中心に「生活」の中で行い、境木小2年生の来校時にも見学をしてもらった。

*この段ボールは境木商店街から高等部の受注班の生徒がもってきた。麻布もいただいた。その後、お礼状も持参した。また、5年生はそり遊びの延長で、校外学習の時間に屋内スキー場へ行き、そり遊び体験も行った。

*今後は、スポーツ協会との協働も進めていきたい。

〔中学部〕 資料3-2

*パワーポイントの写真は防災センター見学の様子になる。スクリーンに実際の様子が写される中、震度いくつかの地震を体験した。消火器体験も行った。防災センターはコロナが落ち着いてきて、今年から予約ができるようになった。防災教育に向けて、最大限に施設を活用していきたい。予約が取りにくいのが難だが、1年から3年までスモールステップで積み上げられるよう計画していく。

*アセスメントは、実施結果を個別教育計画の次の目標に反映できるようスケジューリングした。今年度はうまくいったのではないか。

*「地域との協働」では、小学部と同様に実際の交流が実施できた。境木中の支援級と行った。本校の体育館で一緒にデカパンリレーをやった。次年度も続けていきたい。

〔高等部〕 資料3-3

*「生徒指導・支援」では、高等部の時間割を今年度変え、以前行っていたバザーを職業班活動報告会として実施した。カタログ販売と授業参観を行った。コロナで対面販売ができなかったが、今年度は活動の一部を見てもらうとともに、製品を持ち帰って見てもらうことができた。職業班も変わった。環境整備班はクリーンサービス班に、陶芸班は技術伝承が難しいため受注班に変えた。小学部で使用した段ボールもこの受注班がもってきた。今後はさらに対面販売を実施していき、販売する事業者数も増やしていきたい。

*「情報モラル教育」では、小中学部より問題が起きやすいのは高等部ではないかと考え、授業の中で積極的に取り入れていくようにした。例えばLINEのやりとりで、返事がすぐ帰ってこないことに腹を立てたり文章でのやりとりに齟齬が起きたり等いろいろな問題が発生する。その子特有の課題に向き合っていきたい。

〔舞岡分教室〕 資料3-4

*「教育課程・学習指導」では、「進路学習」と「情報」において3年間の指導内容表を作成した。また、分教室で作成した防災計画に基づき喫食訓練等を行った。シェイクアウト訓練も抜き打ちで2回行った。

*「課題・改善」は、来年度も学習内容表に基づき実践をし、その中で他教科との横のつながりも意識して検討を進めていくことと考えている。

*防災計画もさらに深めていきたい。

*「生徒指導・支援」では、学校行事を中心に、舞岡高校との交流にたくさん取り組んだ。体育祭には1日通して参加し、4種目に出場した。文化祭ではボッチャ体験を主催した。障害理解、共生社会実現に向けてさらに交流を深めていきたい。

『横浜平沼分教室』 資料3-5

*「生徒指導・支援」では、1年生全員が支援室の教員や心理士と面談をした。面談の結果を基に支援を展開した。平沼の生徒たちは、アウトプットが苦手だったり自己肯定感が低かったり等が課題であると教員が共通認識し、支援を行っている。2年生から3年生も同様の様子が見られる。

*「学校運営」では、本校だけでなく分教室でもスマホのトラブル回避が重要になっており、教員同士の連携した対応が大切となる。スマホ教室は年2回開催した。今後も継続してやっていきたい。

『管理運営グループ』 資料3-6

*「防災訓練」として、安全防災訓練を年3回実施し、間にそれとは別にマンスリーショート訓練を行った。実践の積み上げの場として効果があったと考えている。マンスリーショート訓練の経験とリンクさせて授業を行ったクラスもある。今後はさらにいろいろな場面を想定して実践していきたい。

*「スクールバス班」では、業務連絡会等での意見を反映して運行要項を改定した。来年度はドライバーと介助員の意見も反映して業務連絡会で検討し、スムーズなスクールバスの運行につなげたい。

*「会計班」は、臨時会計の業務が増えた。イレギュラーな業務が多く、班員への質問も多かった。過去の事例に基づき回答したが、これらはコロナ禍で休止していた行事が復活したことに伴うもの。今後はマニュアルを整備していきたい。

『教育企画グループ』 資料3-7

*「教育課程・学習指導」では、4年間の目標にある、体育の「教科指導内容表」の修正を行ったが、手立てとして年間授業計画の作成と書式の統一を用いた。美術・図工、家庭・生活、音楽についても今年度作成したものを来年度は修正していこうと考えている。

*「学習発表会」は3年ぶりの開催だったが、状況をわかる教員も少なくなったこととコロナ禍でもあり、安心・安全な実施に努めた。

*「学校管理・学校運営」では、指導要録の電子化に合わせて、マニュアル作成や研修会の実施により事故防止に努めた。一方で途中の転校生などは電子と紙ベース両方が混在することになるので今後も事故防止に注意が必要となる。

*「人権研修会」は、ICT の活用における情報モラル教育をテーマに行った。保土ヶ谷養護学校における課題と求められる授業内容等について話し合いを行った。

『教育支援グループ』 資料3-8

- *「生徒指導・支援」では、研究・研修班がサマーセミナーと基本研修を実施した。サマーセミナーは校内人材を活用し主に校内職員向け、基本研修は外部人材を活用し外部にも開いて実施した。今年度は太田ステージの研修会を行った。アンケートでは9割以上の肯定的評価をいただいた。
- *健康班は摂食に関するアセスメントシートの活用を進めた。作業療法士が講師となり進めている。摂食指導研修会も9割以上の肯定的評価が得られた。
今後も意見を参考にアセスメントシートを改善し活用を促進していく。
- *アセスメントについては、学部によって実施状況にばらつきがある。活用実績の向上につながるよう効果的な研修を実施していく。また、摂食指導研修会の時期が遅かったので来年度は早めに行い活用していきたい。
- *「地域等との協働」では、ホームページの構成を見直し、より多くの情報発信に努めた。課題としては、更新が遅かったので来年度スムーズに行えるよう整理していきたい。

『連携支援グループ』 資料3-9

- *「進路指導・支援」では、保護者に進路への理解を深めてもらうことを目標立てし取り組んできた。学期ごとに進路懇談会、個別面談を行った。小・中学部は進路見学会を実施したが、進路指導について説明をする場はこれまでなかった。明日2月28日にビデオ上映会を実施し、その際高等部の進路指導の流れを説明する予定になっている。関心の高さからか42名が申し込んでいる。職員については、来年度校内研修の中に組み込み行っていく。
- *「地域等との交流」では、今年度の新しい取り組みとして、横浜市のメンター研修の一環で境木小から職員9名の見学を受け入れた。本校の担任が直接説明し、3つのグループに分かれて話し合いを行った。稲荷台小からもこの後来る予定になっている。

②保護者・職員アンケート結果 資料5-6

- *資料5は、教員と保護者に実施したアンケートを比較できるようまとめたもの。回答の1と2は肯定的評価、4と5は否定的な意見としてとらえた。
- *資料6は保護者への教育活動に関するアンケート結果で、6割程度の保護者に例年回答いただいている。
- *「進路指導の充実」が今後に期待することの上位になっている。保護者のニーズには応えていかななくてはいけないと考えている。
- *「わからないポイント」は例年同じ項目だが、保護者に情報がうまく伝わっていないためなのか、情報発信に工夫が必要と考える。
- *集計状況としては、高等部と横浜平沼分教室の提出率が低かった。
- *ICT機器の活用は行っているのだが、それがうまく伝わっていないようだ。交流の成果も同様と思われる。
- *資料7は教員の集計結果である。肯定的評価が半減してしまった。肯定的評価が高かったのは「個別教育計画」の部分で、教員も多くのエネルギーを注入している結果ではないか。
- *「わからないポイント」では、「教員間の話しやすさ」が25.4%と昨年より高くなっているのも課題として認識される。

*今後の課題では、行事が復活した一方で、その行事を経験していない人が多く、授業との両立に苦戦したことがあげられる。

③「切れ目ない支援部会」活動報告 資料8・9

- *光陵高校の「教職基礎演習」の受け入れが新しい活動になる。「ほどようオープンデー」は3年ぶりに実施した。人数も制限し事前申込制で行った。12月にピッカ主催のダンスチャレンジ教室も行った。
- *「ほどようオープンデー」はとても好評だった。「教職基礎演習」も教職を志す高校生たちにとって特別支援教育理解のよい機会となった。
- *今後は学習ボランティア等の再開も考えていきたい。
- *資料9にあるのは、小学部では権太坂小と直接交流を行ったこと、中学部は境木中の支援級との直接交流。権太坂境木自治会とはクリスマスツリーのオーナメントの飾りつけをさせていただいた。
- *高等部は光陵高校と来年度に向けて話し合いを持った。体育祭での交流ができればいいと考えている。地域との交流では職業班の活動報告会の際、3事業所に参加していただいた。
- *平沼分教室は、吹奏楽部の演奏を聴いたり、3月には合唱祭への参加を予定している。
- *舞岡分教室は、体育祭に1日参加をし、文化祭ではポッチャ体験を開催した。その他生徒会合同の挨拶運動も実施した。
- *切れ目ない支援部会も2年ぶりに開催し、活動の方向性や見通しが持てた。交流では、本校児童生徒が受け身ではなく主体的に少しずつ取り組めたのではないかと考えている。さらに新しい取り組みをアップデートしていきたい。

④「農園活用部会」活動報告 資料 10

- *農園活用部会は「遊び場チーム」と「農園活用チーム」の2つに分かれて行った。
- *遊び場の滑り台は楽しく活動できた。小学部の活動だが、高等部も材料の仕入れ等活動に加わった。滑り台は、来校した小学校の担任にも滑ってもらった。
- *農園ではトウモロコシを作った。大根も収穫できた。
- *この部会の活動について、校内や地域への周知が足りないと考えている。今後でもできることを継続していく。遊び場も増やしたい。

6. 協議(意見交換)

会 長)各委員順に発言していただきたい。

A 委員)気になったのは、舞岡分教室の高校の運動会への1日参加である。保護者の中には分教室を高校の個別級と捉えがちだが、実際は間借りしている関係にある。その中で1日参加できたのはとてもありがたいことと思う。来年度も是非継続してもらいたい。

B 委員)自治会としても参加できる行事には参加していきたい。今年度は行動制限がありなかなか参加できなかった。来年度は行動制限が解除されれば行っていきたいが、人が入れ替わるので勉強していきながら行っていきたい。

会 長)引き続き協力をお願いしたい。

C 委員)保土ヶ谷養護学校は組織がすごく大きい。報告が多岐にわたり全容がつかみづらい。本校

でも保護者アンケートの結果で「発信がわかりづらい」というのがある。このため、できるだけ写真入りで発信しようと考えている。

4校交流がしばらくできていない。役員の引継ぎもされていない。交流再開を楽しみにしている保護者もいる。どうしたらよいだろうか。

A 委員)4校の役員で今後どうしようか話し合った。全員ではなかなか集まらず、代表者4人でLINEグループを作って引き継いでいる。

C 委員)子ども同士の交流に教員が入ってくれて理解が深まった。今後交流がいろいろ再開できるので引き続きよろしくお願ひしたい。

D 委員)学校組織としては、「共有化」がキーワードになると考える。コロナの3年間で、コロナ前後に溝ができています。行事等再開するにあたり、個人の経験に頼らず共有化していくことが大事だと思う。そうすれば今後コロナ等があっても耐えられるのではないか。個の経験に頼らず組織で対応していくことが大事である。

E 委員)多岐にわたる取り組みがわかった。縮小していた活動が再開している。うちの事業所でも保土ヶ谷養護の取り組みを聞き、前向きにやっていきたい。

連携支援の報告にある、職員の現場体験はとて面白い刺激になり、いい交流となると考えている。

校長)これまでも行ってきたものだが、その形を変えて実施している。

E 委員)参考にさせていただきたい。

会 長)「プロセスから関わる」という意見があったが、農園活用への感想はいかがか？

E 委員)大きな目標を掲げ、成果を求めてしまいがちになるが、成果にとらわれるのではなく過程を、連携を大事に考えるということ。たとえその時成果が出なかったとしても、連携した取り組みの実績が後になって評価できることがある。

F 委員)コロナ禍の3年は大きい。本当に苦労された。今までに比べれば交流も増えてきた。今までと違った対応ができてくる。これからさらに地域間交流ができるのではないかと評価している。期待したい。

コロナにより休みがけっこうあったが、休むことはよくない。なにがあっても出てきて何かやるということが大事。普段であればできたことができなかつたのはよくない。これからは過ぎたことはしょうがないので、来年度は前向きにぜひ取り組んでもらいたい。

高等部で時間割の変更とあり、班分けの話もあったが、どうやって班を決めているのか。

教 頭)生徒の希望もあるが、教員から見た適性によることもある。

F 委員)3年間で班は変わるのか。

教 頭)そうです。

会 長)今後の進め方で助言はあるか。

F 委員)興味を持つものが本人にあるのであればチャレンジさせてみるのはどうだろうか。最初から周りが決めるのではなく、本人の気持ちも大事にもらいたい。

会 長)ぜひ検討してもらいたい。

副会長)小・中・高・舞・平と4つのグループ、すべての学校評価報告を聞き、よくやったと思う。ここまでできたのはとても素晴らしい。心から御礼申し上げます。

また、2委員、K委員のご支援にも心より御礼申し上げます。

学校評価におけるスライドの説明の中で、「学習発表会」のことがあったが、資料にも追記し

ていただきたい。連携支援のメンター受け入れの活動も同様に追記していただきたい。

アンケート結果は資料5、6、7となっているが、資料6、7で示されている「わからないポイントが高い項目」のICT 38.9% や情報発信 35.9% といった数値が資料5のどこからきているか、その内訳の中身をあとで委員全員宛にメールで教えてもらいたい。

神奈川県障害者の就職率は、3月の状況では 28% であり、2年連続で下がっている。東京都は 49% もしくは 44% となっている。これは人材の差ではなく取り組みの差ではないかと考えられる。

一方で、法定雇用率が改訂され 2.5% になる。その後さらに 2.7% にまでなる。そうすると、自社だけで 440 人雇用しないといけない計算になる。

「進路指導の充実」が「今後に期待すること」の1番目となっているが、来年度進路指導の充実策として副会長、K委員の2人を活用してもらいたい。お手伝いを絶対する。

教員の評価で授業評価が 10%低下とあるが、どこから引いた数値か、これもメールで示していただきたい。

項目の4と5で、変化したところはどこかについてもメールでお願いしたい。

「切れ目ない支援部会」の資料は8と9だが、資料の作り方として、農園活用部会と同じように「切れ目ない支援部会活動報告」とタイトルを入れて作ってもらいたい。

会長)学校運営協議会は、学校と地域の協働の一環として教育活動の活性化を図っていくことがねらいとしてある。アンケートにあった「進路指導の充実」に対して協力していただけたとの話があったので、次年度以降ぜひつなげてもらいたい。

「学校評価」として、素晴らしいと副会長からの言葉があった。委員の皆様もその評価でよろしいか。(一同:よい)

ここで進行を事務局に戻す

7.事務連絡

副校長)長時間にわたり審議いただき感謝申し上げます。

会長)説明は手短かにとの心配りがされていたが、内容のボリュームがあったようだ。

副校長)今回が今年度の学校運営協議会の4回目となり最終回となる。次年度に向けて副会長、K委員から温かい言葉をいただいた。来年度も4回計画したい。改めてお話をさせていただく。

8. 学校長挨拶

毎回大量の情報を提示し、ご意見をいただくことになり、とても失礼なことをしていると感じている。ご対応にとても感謝申し上げます。

仕事をしぼり明確にしていくことが、職員にとっても子どもたちにとっても大切ということ今年1年の実践を通じてわかった。皆様からいただいた意見を職員で共有したい。

ぜひ来年度も委員をお引き受けいただきたく、改めてご相談させていただく。

9.副会長挨拶

障害者基本法を基に障害者基本計画が5年ごとに改定されることになっており、この4月に次の改定がされる。今回初めてSDGsが入る。

保土ヶ谷養護学校は、センター的機能をよく果たしている。また、S校長、K校長、境木小学校、

境木中学校の校長のご協力にも心から感謝申し上げます。

会 議 資 料

※ 添付なし